

# 野洲市教育研究所だより

## 5月号

### 子どもの「よさ」を見つめる

「あの子さえおらんかったら・・・」から、「あの子がいてくれたからこそ」へ

野洲市教育委員会 教育長 西村 健



子どもの「よさ」が見えないとき、私たちはよくその指導に手こずります。そして、「あの子さえ・・・」などと思いがちです。また、つい感情に任せて怒るだけの指導になってしまいます。一方で、そういう子は逆に教師のそうした感情に油を注ぐかのような言動が実にうまい子でもあります。こんな関係では、集団づくりはとうてい考えられません。

私は、中学校で担任をしていた頃、こうしたことがたびたびあり、お腹に鉛でも飲み込んだような実に重い日が続きました。「もうここ（学校）から消えてしまいたい。」と、何度思ったことか……。そんなとき、職員室で隣の先輩が「おい、どうしたんや？」と声を掛けてくれたものです。私は、学級がうまくいかないことをポツリポツリと話ししました。そして、自分の力のなさやうまくいかない「はがゆさ」に、時には涙を流したこともありました。そのうちに、「何とかこの子を育てたい」という一心から、結果として注意ばかりになってしまっていたことに気づかされました。子どものマイナス面ばかりに目が行っていたのです。先輩は思い返すように若い頃の失敗談を語ってくれました。共通していたのは、子どもの「よさ」が見えなくなっていたということでした。何らかの理由で教師に余裕がないとき、あるいは教師が子ども観・人間観を鍛えられていないとき、また、自分の価値観のみに縛られてしまっているときなどには、得てしてそうなりがちです。子どもの「よさ」と一口で言いますが、そう簡単に見えたら担任の苦勞なんてありません。「よさ」を見るのは生易しいことではありませんが、逆に、それが見えたときにはもう半分以上集団づくりがうまくいっていると言ってもいいぐらいです。

そして、その集団づくりの指標が一番「しんどい子」です。特に重い課題を抱えている子です。こうした子は、幼少期に家族などのごく身近な大人とのかかわりの中で人間不信に陥ってしまった体験が多いようです。結果として、他の人をも信じられなくなってしまう。本当は「親を、大人を、人間を信じたい。」それなのに、原体験が信じられなくさせてしまっています。とても悲しいことです。しかし、私たちはこうした現実があることを直視しなければなりません。ところで、子どもは「人間不信」だけでは生きていけませんから、身近にいる人の気持ちを試すような行動をします。そして、するどい感覚でその人の弱点を見抜き、そこを突いてくることで「値踏み」をするのです。「この人は敵か見方か。」そんなとき、「ははあ、この子は今私を試してるんやな。」と、こちらに余裕があるときには、そういう捉え方ができます。しかし、往々にしてこちらが忙しいときに限って突いてくるものですから、つい感情的に怒ってしまい、ますます関係が悪化してしまいます。

でも、実はそんなときこそ、教師としての成長の機会なのです。ちょっとした視点の変化や何かのできごと、または「気づき」といったことをきっかけに、見えなかった子どもの「よさ」が見えてきたとき、私たちは子ども観・人間観を揺さぶられます。それは単に教師としての成長だけにとどまらず、人間としての成長の機会とも言えると思います。ですから、集団づくりとは、教師が豊かな子ども観・人間観を身につけると同じであるのかもしれない。「あの子がいたからこそ、私はここまで成長できた。」こういう感謝につながるのではないのでしょうか。

『子どもの「よさ」を見つめる。』このことは、集団づくりだけでなく、授業（保育）でも言えることです。今年一年、そんな思いで教育・保育に臨んでいきたいものです。



# 第1回 教職員全員研修会



4月6日（金）午後、さざなみホールにおいて第1回教職員全員研修会を開催しました。教育長あいさつのあと、平成29年度教育研究奨励事業表彰式を行いました。

最優秀賞	野洲小学校	辻井 唯	教諭
優秀賞	さくらばさまこども園	村岡 愛里	教諭
奨励賞	さくらばさまこども園	三嶋 郁美	教諭
	北野幼稚園	石橋 真由実	教諭
	中主小学校	志賀 一威	教諭



次に、野洲小学校辻井 唯先生に研究発表を、大阪大学大学院教授の小野田正利先生に講演をしていただきました。辻井先生は「言葉を通して、豊かに自己表現できる子どもの育成」の研究テーマで昨年度担任の2年生の実践研究発表でした。小野田先生からは、「難しくなる保護者対応トラブルを考える」の演題で保護者との関係の構築について講演いただきました。先生方から寄せられた感想等を紹介し



・子どもたちにつけたい力をしっかりと持ち、そのための教材研究をされていて、すごいと思いました。見習ってみたいです。

・適度な距離をもって接することが大事と教えていただいたので、今後に生かしたい。トラブルもあるかもしれないが決して対立の立場でなく、ともに子どもの成長を支えあう立場ということをお忘れず付き合っていきたい。



・明確な研究動機を基にした具体的な実践がとても素晴らしい。私は中学校ですが、豊かな実践の数と特に研究の視点・着目点がステキ。

・保護者の方への目線が少し変わった。「保護者には、思いがある」という言葉にはっとした。やはり「きく」ことが大切だと思ったし自分の受け入れる姿勢が大切だなーと感じた。



・幼児期から言葉の力をつけることは大切で、取り入れていくことができることだと思った。

・保護者の方の思い、願い等を丁寧に聴く姿勢を大切にしていきたい。また子どもに対しても一人ひとりの声、姿を大切にできる保育をし、子どもが自己表出できるようにしたい。

野洲図書館の宇都宮香子館長、谷口雪子司書、武藤佳央里司書に講師をお願いし、図書館利用案内、図書館の団体貸出、読書の進め方、読書と子どもなどについてまなびました。

講話の冒頭で、宇都宮館長より野洲図書館が昨年度ブックトークなどの地道な活動により文部科学大臣表彰を受けられたことが報告されました。また、「A1 教科書が読めない子どもたち」の内容についての話を織り交ぜながら自分を育てる読書についてお話されました。講師の先生方には、盛りだくさんの内容を1時間の中にコンパクトにまとめていただき、充実した講座となりました。各校園とも読書活動の推進に努めていただきますようお願いいたします。



## 読書活動推進講座

4月27日(金) 15:30~16:30  
市民活動支援センター会議室にて開催



### <参加者の感想等>

- ・子どもたちと一緒に、毎日絵本を読んでいます。これからも、たくさんの本との出会いを大切にしたいです。
- ・調べ学習に中学校でも活用していきたいと思います。各先生に発信していきたいと思います。
- ・「学校図書館を情報センターに…」のスローガンが毎年なかなか達成できずにいる。本年度教えていただいたシステムと連携しながら主体的に児童が情報収集できる館の運営を目指していきたい。

### ★読書活動キーワード

- ・「10冊のうち9冊が枕になってもよい。何よりも本のある環境を！」
- ・「読み聞かせに始まり、読み聞かせに終わる」
- ・「今までの価値観が揺さぶられる本こそ良書」
- ・「こうなりたい人」と出会える本
- ・「〇〇のための読書」からの脱却



## 【個人・グループ】

### 教育研究奨励事業に 応募を!

教育実践をまとめることは、これまでの指導を振り返り、新たな実践に結びつける機会となります。多くの先生方の応募をお待ちしています。

(昨年度の応募：個人15 グループ1)

### お知らせ

今年度の野洲市教育研究所のスタッフは、所長 渡邊美喜子(兼務)、副所長 北村章、専門員 岡嶋大輔(兼務)、研究員 清岡仁美、教諭 山田栄子(兼務)、橋本裕子(兼務)の6名になり、充実しました。どうぞよろしくお願ひします。

### 平成30年度 教育研究奨励事業スケジュール

6/25(月) 研究奨励論文の応募締め切り

7/31(火) 研究計画書提出締め切り

8/2(木) 野洲市教師育成塾(VIII)

H31年

1/15(火) 研究成果報告書 提出締め切り

1/18(金)~1/31(木) 研究論文審査

2/15(金) 審査結果報告

### 6月の講座

『野洲市教師育成塾(Ⅲ)』	6月 1日(金) 14:00~	市役所別館1階会議室
『英語教育推進講座①』	6月 7日(木) 14:30~	三上小学校
『人権教育講座①』	6月15日(金) 15:00~	人権センター



今年度、教育研究所に就学前教育部門の職員が2名席を置き、保育アドバイザーの活動を始めることとなりました。そこで、アドバイザーとしての仕事内容と、今年度行う就学前教育担当者のための研修講座を紹介します。

### ○仕事内容

- (1) 市立幼稚園・保育園・こども園の巡回指導  
(幼稚園の1年次経験者と2年次職員、保育園こども園の1・2年次職員対象)
- (2) キャリアステージごとの研修会の開催  
(1・2・3年次職員、主査・主任、新任園長)
- (3) 「野洲市幼稚園(保育園)職員のキャリアステージにおける教員育成指標」の作成



### ○今後の就学前教育研修講座予定 (教育研究所・野洲市幼稚園教育研究会)

月 日	内 容	講師・担当者	対 象
6月15日(金)	人権文化の創造と伝達	滋人教事務局	全職員
7月13日(金)	好奇心や探究心を育むために	京都光華女子大学 永本多紀子 准教授	全職員(市幼研主催)
7月25日(水)	1学期の取り組みについて ・記録のまとめ方	保育アドバイザー	1・2年次職員対象
7月25日(水)	土粘土遊び	保育アドバイザー	1・2・3年次職員対象
7月31日(火)	特別支援教育講座①	前野洲養護学校 校長 河合弘之 さん	全職員
8月2日(木)	絵具遊び	びわこ学院大学 高橋容子 講師	全職員(市幼研共催)
8月10日(木)	道徳教育がキルマゼンメント	武庫川女子大学大学院 押谷由夫 教授	教師育成塾区(管理職研修)
8月21日(火)	保幼小中一貫教育	京丹後市教育理事 松本明彦 氏	(教職員全員研修)
8月22日(水)	主体的・対話的で深い学び	相愛大学 中井清津子 教授	全職員(市幼研共催)
8月22日(水)	特別支援教育講座②	未定(連絡待ち)	
8月23日(木)	SSWの視点から子どもの心、 親の心を見る	滋賀県SSWスーパーアドバイザー 上村文子さん	10年目教員
8月24日(金)	自分も他人も大切に 子どもの育成を目指して	学校教育課 西山逸昌 専門員	全職員
8月28日(火)	劇遊びの進め方	保育アドバイザー	1・2・3年次職員対象
12月25日(火)	2学期の取り組みについて	保育アドバイザー	1・2年次職員対象
12月25日(火)	版画遊び・要録の書き方	保育アドバイザー	1・2・3年次職員対象
3月19日(火)	3学期の取り組みについて	保育アドバイザー	1・2年次職員対象
未 定	主任研修	現職園長	主任・主査
未 定	新任園長研修	保育アドバイザー	新任管理職対象

※研修講座は、ひとり2講座以上を受講してください。【全員研修会を除く】